

全米熱帯まぐろ類委員会（^{アイエーティーティーシー}I A T T C）第 99 回会合（特別会合）及び 第 100 回会合（年次会合）の結果について

1 日時・場所

8月1日（月）から5日（金）（現地時間）まで、アメリカのアリゾナ州でweb会議と併用する形式で開催。

2 出席国・地域

日本、米国、カナダ、EU、中国、韓国、台湾、フランス、メキシコ、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、コスタリカ、コロンビア、ニカラグア、パナマ、バヌアツ、ベネズエラ、ベリーズ、ペルー（20ヶ国・地域）

（他、関係する国際機関、NGOの代表等が参加）

3 我が国出席者

福田水産庁資源管理部参事官（我が国代表）ほか、水産庁、外務省、関係団体等。

4 結果概要

（1）メバチ・キハダの資源管理

昨年の年次会合で採択された2024年までの措置について、その実施状況についての確認等が行われるとともに、実施をより効果的にするための管理プロジェクトが承認された。

（2）太平洋クロマグロの資源管理

昨年の年次会合で採択された2024年までの措置について、その実施状況についての確認等が行われた。

（3）事務局長選挙

パナマのアーヌルフォ・フランコ氏が新しい事務局長に選出された（任期4年）。

【参考１　メバチ・キハダ資源管理措置の概要】

（１）まき網漁業

	2021 年以前	2022-2024 年
全面禁漁期間	72 日間	漁船毎に前年のメバチ漁獲量に応じて禁漁期間を延長（※１） 1200 トン以上： 82 日間 1500 トン以上： 85 日間 1800 トン以上： 88 日間 等
集魚装置（FAD） の使用数 （一隻当たり）	450 個 （※２）	2022 年：400 個 2023 年：340 個 2024 年：340 個

（※１）2022 年については、2017-2019 年平均のメバチ漁獲量が 1,200 トンを超過していたまき網漁船について、一律 80 日間の禁漁期間。

（※２）漁船の大きさ別に上限が設定されており、「450 個」は一番大きい漁船の区分の上限。

（２）はえ縄漁業（※変更なし）

メバチの漁獲枠の設定（我が国漁獲枠 32,372 トン/年）

【参考２　東部太平洋の太平洋クロマグロの漁獲枠（２年間分）】

	2021 年以前	2021-2022 年（※）	2023-2024 年
全 体	6,600 トン	7,295 トン	7,990 トン
（うちメキシコ）	6,000 トン	6,556 トン	6,973 トン
（うち米国）	600 トン	739 トン	1,017 トン

（※）増枠が適用されるのが 2022 年からであるため、「2021-2022 年」の漁獲枠は、「2023-2024 年」よりも少ない。